



くすなたん

臈月号

Vol.35

2007年5月

飲食店向け情報満載かわら版
毎月発行

毎月10日発行
発行人 藤本高司
発行所 フジモト株式会社

飲食店舗さま向けにかわら版を毎月発行します



薫風の候

桜前線も日本を横断して風薫る季節がやってきました。住いの近くの櫛並木も命の息吹を感じる新緑が鮮やかです。皮肉にもバイオ燃料の影響でマヨネーズが値上がりする世の中です。オイルダラーは資源の革新でもその影響は大きいですね。今年のGW商戦は如何でしたか？話題の新スポットの新丸の内ビルやミッドタウンには連休中も大きな賑わいを見せた様です。街づくりメニューもストーリー性が無くてはヒット出来ないと思います。ディナー型レストランを主とする飲食店では一貫したコンセプトとストーリーを明確に打ち出すことがキーワードでしょう。売上シェアの寡占化が進む中、個店の皆さん！本当の食を提供しましょう！！

満員御礼

スローフードフェアにご来場頂きまして有難うございました。

好天にも恵まれ昨年にも増した来場を記録できました。一年に一度の大きなイベントですが食に対する関心が一般にも浸透してきていることを肌で感じられた二日間でした。



大勢のボランティアの皆さま、生産者の皆さま、ご協賛、後援頂きました皆さまへ心より御礼申し上げます。

食器なんでも豆知識

食器研究家 ケイ・大勝

十二豆 お弁当一つに心一つ ~ 松花堂弁当のお話 ~

季節も初夏に移り、野も山も若葉の美しい季節がまいりました。そろそろレジャーで外出する機会も増えてきますね。今回のテーマはそんな時に活躍するお弁当のお話です。



「松花堂弁当」は皆様も良くご存知ではないでしょうか。

箱に十字の仕切りがついて、それぞれに先付、焼物、刺身、煮物などが入っているお弁当のことですね。それではなぜ、仕切りがついているのでしょうか。もともとは、松花堂昭乗(しょうかどうしょうじょう)という人物が、農家で使われていた、十字に区切った箱を利用し、絵の具箱や、茶会のたばこ盆として使用したものが始まりです。「昭和の初め、この昭乗遺愛の箱を見て、これに料理を盛りつけてはと考えたのが、大阪の料亭吉兆の主人、湯木貞一さんでした。これがうけて松花堂弁当は全国に広がりました。その松花堂弁当を、創作した吉兆が松花堂庭園内で提供しており、今日における新名所となっています。」

(引用 サイト名:八幡散策 執筆者:Y.Koyama
URL: <http://www.asahi-net.or.jp/~uw8y-kym/index.html>)

仕切りは、食材同士の匂いや水分が混ざらないようにするために、料亭の主人、湯木貞一さんが考案したものです。しかも、区切られた空間には色とりどりの食器を使うことによって、見栄えも良いものとなります。日本人の繊細な感性と気配りが感じられる工夫ではないでしょうか。

お出しする方への「おもてなしの心」が込められた松花堂弁当は、昭和初期より今もそのスタイルは変わらず、たくさんの方に親しまれています。相手への気配りを忘れない日本の文化を大事にしていきたいものですね。

フレッシュNEWS

デザイン・フェスタ開催迫る！！



どんなに才能が豊かでも大きなチャンスはなかなか1人では作れません。しかしみんなが集まって大きなムーブメントを起こせば、ひとりひとりの可能性は広がります。

デザインフェスタは、オリジナルであれば誰でも参加できる国際的なアートイベントです。審査もありません。1994年より始まり毎年2回開催。世界中のアーティストが自由な形式で作品を発表しています。個性豊かな想像力と熱い思いが集まるデザイン・フェスタに、お出かけになってみてはいかがでしょうか？

開催日時 2007年5月26日(土)~27日(日)11時~19時まで
開催場所 東京ビックサイト 西1~4ホール及び屋外&アトリウム
1日券:前売800円 当日1,000円
2日共通券:前売1,500円 当日1,800円

出展のお問合せ
デザイン・フェスタ・オフィス
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-20-18
TEL 03-3479-1433 FAX 03-3479-1498
E-mail info@designfesta.com
<http://www.designfesta.com>



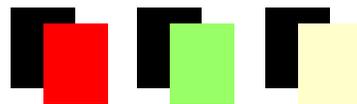
カラーのお話

すぐに役立つ 色彩基礎知識
~ 第17回 味と香りと色彩 ~

カラーコーディネーター 岩崎 浩一

今回のテーマカラーは「黒:ブラック」です。全ての色を吸収する黒はいろいろな意味で特別な色です。イメージとしては上品な、重厚な、男性的な、シャープな...が一般的です。ファッションでは80年代以降「黒服」は日本発定番カラーとして世界にもその流行を広めてきました。今でもフォーマルからカジュアルまで圧倒的な人気色。あまりにも多く利用されるので流行色とは言えなくなっています。

飲食界でも内外装、制服、器などとても幅広く使われています。使い方によってはとても効果が出ます。赤と黒、黄と黒、白と黒などなどコントラストの強い個性的な演出が可能です。またセパレーション効果には抜群です。



セパレーション効果



Fujimoto

発行所 フジモト株式会社
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-7-7SKTビル2F

<http://www.fujimoto.co.jp>

TEL03-5378-6830 FAX03-5378-6823